

(別記様式第11号) (第3の8関係)

(地域)

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	魅力再発見！出砂原地域活性化事業	
事業主体 (連絡先)	高森町 出砂原自治会	
事業区分	環境保全、景観形成、その他	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	396,900 円 (うち支援金： 円)	

事業内容

- 昭和時代の「旧町名」や旧所名跡などの地域資源を示す看板の設置
- これら地域の「案内マップ」を作成

上記を活用し、町商工会等とも協調し、「六地藏」縁日に併せた出店（団子・骨董市など）等により内外の住民を広く呼び込み、地区住民のボランティアによるタウン・ガイドも行う。・・・以上により、高森や豊丘周辺の玄関口としての魅力が増し、関係地域全体に活性化効果が波及すると期待される。



【人通りの多い下伊那厚生病院前】

自己評価（事業実施率）【B】

事業効果

事業の完了により、地区内の景観が向上すると共に、郷土の歴史や資源に対する住民の誇りと愛着を高めることができたと考える。同時に、地域の活性化も一定程度は進んだと考える。(以上のねらいに対する自己評価はA)

一方で、JR乗客など観光客の増加数という指標は、事業完了の直後では測定できない。1年経過後に測定したい。(数値指標に関する自己評価は未測定のためC)
以上により、目標達成率の自己評価はBとする。

【目標・ねらい】

- 郷土の歴史や資源に対する住民の誇りと愛着の高まり
- 地域の活性
- JR乗客等の観光客を現在より1000人増加 (H24年度目標)

自己評価（目標達成率）【B】

今後の取り組み

天龍社・天龍船下り・交通の要衝として一世を風靡したが、時代の変遷で商業が衰退。数多くあったスーパーや料亭も姿を消し、沈滞してしまった。しかしながら、天竜川の自然やJR飯田線の市田駅、下伊那厚生病院などがあり、高森町の玄関口にふさわしい地域として、往年の賑わいを取り戻したい。そのために地域一丸となって、今回の元気づくり支援金事業の成果を活かすべく、お客さん呼び込むための努力を継続して推進する。

◆具体的な取り組み計画；六地藏の縁日での植木市・骨董市・青空市、地産地消の特産グルメ開発など

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。